

# **WAGON R**

## **助手席昇降シート車 取扱説明書**

お車の中に保管してください。  
ご使用の前によくお読みください。

「WAGON R 取扱説明書」とあわせてお読みください。



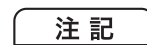
# このたびは、ワゴンR 助手席昇降シート車 を お買い求めいただきありがとうございます。

ご使用の前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。

お車の取扱いを誤ると、事故や故障の原因となります。本書をよくお読みいただき、いつまでも快適なカーライフをお楽しみください。

- 本書は、昇降シート装備車の特別装備についての取扱い方法を説明しています。その他の取扱いについては、別冊の「WAGON R取扱説明書」にて説明してあります。そちらも必ずお読みください。

- 本書では、次の記号を使用しています。

 **警告**、 **注意**、 **注 記**、 **アドバイス** は、とくにしっかりお読みください。

|                                                                                                |                                        |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|
|  <b>警告</b>    | 取扱いを誤ると、死亡または重大な傷害につながるおそれがある内容です。     |
|  <b>注意</b>    | 取扱いを誤ると、傷害につながるおそれがある内容です。             |
|  <b>注 記</b>   | 取扱いを誤ると、物的損害につながるおそれがある内容です。           |
|  <b>アドバイス</b> | お車を使ううえで知っておいていただきたい、または知っておくと便利な内容です。 |

- イラストの中で「」の記号が使用してあるときは、図示されている行為の禁止を示しています。
- 保証や点検整備については、別冊のメンテナンスノートに記載しています。本書とあわせてお読みください。
- 本書とWAGON R取扱説明書およびメンテナンスノートは、常にお車の中に保管してください。
- お車をおゆずりになるときは、次に所有されるかたのために、本書とWAGON R取扱説明書およびメンテナンスノートをお車につけてお渡しください。
- スズキ販売店またはスズキ代理店で取り付けた装備品などについては、装備品に添付されている別冊の取扱説明書をお読みください。
- 車の仕様などの変更により、本書の内容やイラストとお車が一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ご不明な点は担当セールススタッフにおたずねください。

## 1. 装置の取扱い

|                       |      |
|-----------------------|------|
| 助手席昇降シート車の各部の名称 ..... | 1-1  |
| 助手席昇降シートについて .....    | 1-2  |
| 正しい着座姿勢 .....         | 1-2  |
| 助手席昇降シートの調節のしかた ..... | 1-3  |
| アームレスト .....          | 1-4  |
| フットレスト .....          | 1-4  |
| 胸部固定用ベルト .....        | 1-5  |
| 昇降シートの動き .....        | 1-6  |
| ワイヤレスリモコン .....       | 1-8  |
| 助手席昇降シートの昇降操作 .....   | 1-10 |
| 車いす固定装置 .....         | 1-16 |

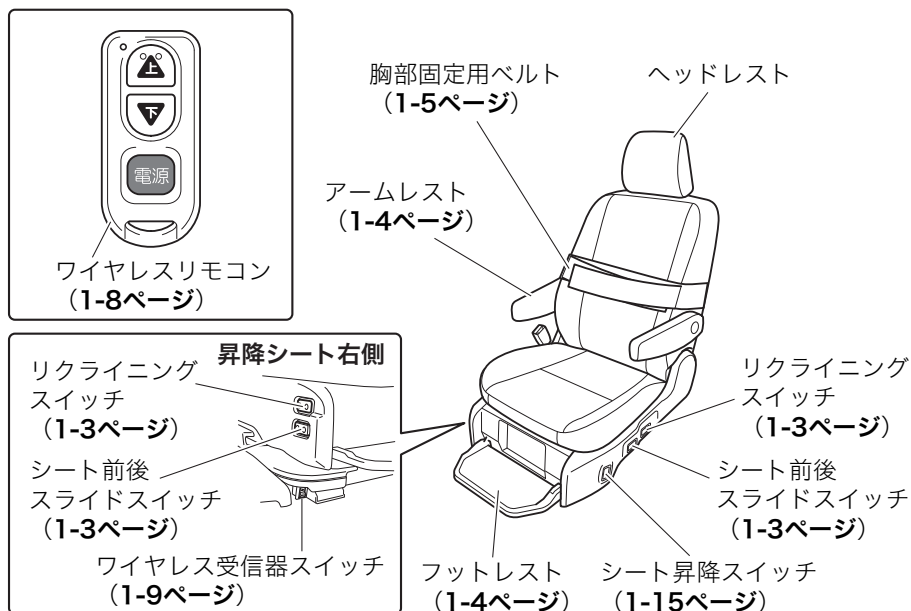
## 2. 万有的时候

|                      |     |
|----------------------|-----|
| ワイヤレスリモコンの電池交換 ..... | 2-1 |
| ヒューズの点検・交換 .....     | 2-2 |
| バッテリーを交換したときは .....  | 2-3 |
| 正常に動かなくなったときは .....  | 2-4 |
| 故障したときの連絡先は .....    | 2-9 |

# 1. 装置の取扱い

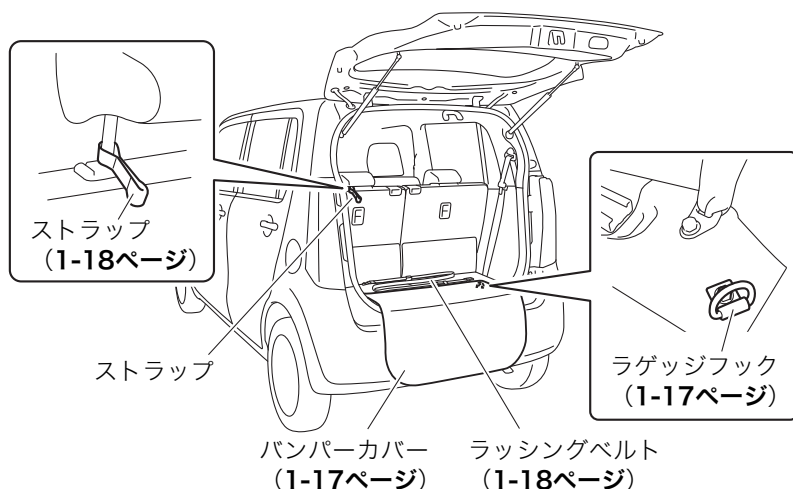
## 助手席昇降シート車の各部の名称

### 助手席昇降シート



72MA0010

### 車いす固定装置



72MA0020

## 助手席昇降シートについて

### 昇降シートにお子さま用シートを取り付けない

お子さま用シートは、必ず後席へ取り付けてください。

#### ⚠ 警告

お子さま用シートをシートベルトで固定した状態で昇降シートを動作させると、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。また、昇降装置やシートベルトが破損する原因となります。

### ヘッドレストは正しく取り付ける

#### ⚠ 警告

ヘッドレストを取り付けるときは、次のことをお守りください。守らないとヘッドレストが本来の効果を発揮できません。

- ヘッドレストはしっかりと固定する
- ヘッドレストを外したまま走行しない
- 運転席と昇降シートのヘッドレストを入れ替えない
- ヘッドレストを前後逆に取り付けない

## 正しい着座姿勢

昇降シートを昇降させるときは、乗員の姿勢を次のようにします。

- ①シートに深く着座します。
- ②アームレストを下げ、両腕の位置はアームレストの内側にします。  
→ 1-4ページ (アームレスト)
- ③フットレストを下げ、両足を上に乗せ両ひざをそろえます。フットレストに足が乗せられない場合は、足がシートと車体の間にはさまれないように介助者がささえてください。  
→ 1-4ページ (フットレスト)
- ④胸部固定用ベルトを着用します。  
→ 1-5ページ (胸部固定用ベルト)



72MA0420

# 1. 装置の取扱い

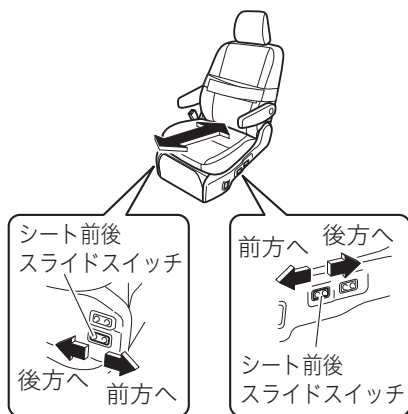
## ⚠ 注意

- シートを昇降させる前に、乗員の姿勢が正しい着座姿勢であることを確認してください。ドア開口部やドアなどに頭や足をぶついたり、シートと車体の間に手足をはさんだりして、けがのおそれがあります。
- とくにご自身でシートに深く着座できない方、ひざや首を曲げられない方の場合、昇降中に着座姿勢が不安定になりやすいため介助者の十分な補助が必要です。

## 助手席昇降シートの調節のしかた

### 前後位置の調節

シート前後スライドスイッチを押すと、シートが前後に動きます。車外に出た状態では、シート前後スライドスイッチを操作してもシートは動きません。スイッチから手を離すと、その位置で止まります。



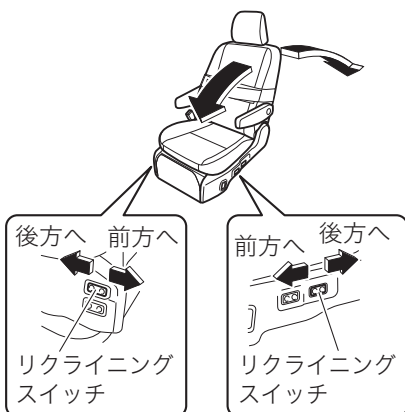
70K4112

## ⚠ アドバイス

シートは、回転開始位置から前後 70 mm程度移動することができます。

### 背もたれの角度調節

リクライニングスイッチを押すと、背もたれが前後に動きます。車外に出た状態では、リクライニングスイッチを操作してもシートは動きません。スイッチから手を離すと、その位置で止まります。



70K4113

## ⚠ アドバイス

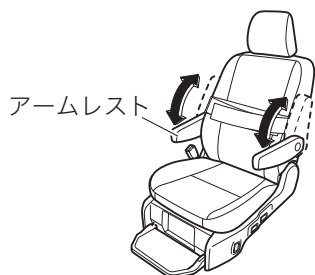
昇降シートはフルフラットになりません。

※前記のほか、ヘッドレストの高さ調節は標準車のシートと同様です。別冊の「WAGON R 取扱説明書」をお読みください。

## アームレスト

乗車時の腕置き用として使用してください。

- シートを昇降させる際は、乗員の両腕をアームレストの内側にします。
- 使用するときには、一番下まで下げます。
- 使用後は、持ち上げて収納します。

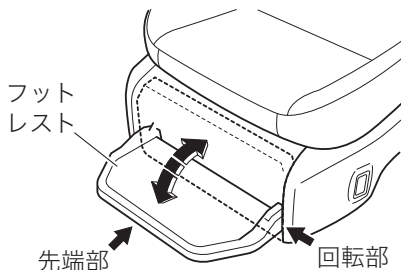


70K4116

## フットレスト

シートを昇降させる際に、乗員の足置き用として使用してください。

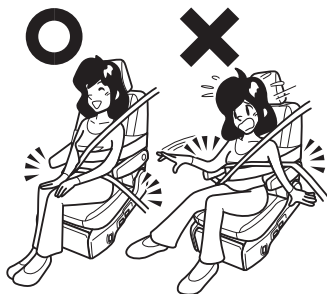
- フットレストの操作は、フットレストの先端部を持って行ないます。
- 使用するときには、一番下まで下げます。
- 使用後は、持ち上げて格納します。



70K4115

### ⚠ 警告

シートベルトは、アームレストの下を通してください。アームレストにベルトがかかっていると、シートベルトが本来の効果を発揮できません。



72MA0450

### ⚠ 警告

フットレストの上で立ち上がらないでください。足を踏み外したりして、けがのおそれがあります。また、フットレストが破損する原因となります。

### ⚠ 注意

回転部近くを持って操作すると、回転部で指をはさんでけがのおそれがあります。

### 注 記

アームレストに腰をかけたり、荷物を乗せたりしないでください。アームレストが破損するおそれがあります。

# 1. 装置の取扱い

## 胸部固定用ベルト

着座姿勢を保てない方の姿勢を補助します。

### ⚠ 警告

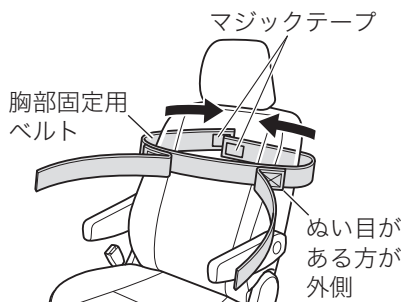
着座姿勢を保てない方は、乗車中も胸部固定用ベルトを着用してください。胸部固定用ベルトを着用しないと、急ブレーキや、衝突のときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。



70K4118

## 取り付けかた

ベルトを図のように昇降シートの背もたれ後部までまわし、シートをしっかりとマジックテープで固定します。



72MA0430

## 着用のしかた

ベルトを次の図のように両脇の下を通し、しっかりとマジックテープで固定します。

- 胸部固定用ベルトは介助者が乗員に着用させます。
- 胸部固定用ベルトは、シートベルトを着用する前に着用してください。シートベルトを先に着用すると、胸部固定用ベルトの着用が困難になります。

### ⚠ 警告

胸部固定用ベルトを着用するときは次のことをお守りください。守らないと急ブレーキや衝突のときなどに、重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 胸部固定用ベルトはシートベルトではありません。胸部固定用ベルトを着用した場合であっても、走行前にその上から必ずシートベルトを着用してください。
- シートベルトの上から胸部固定用ベルトを着用しないでください。シートベルトが本来の機能を発揮できません。

### 📌 アドバイス

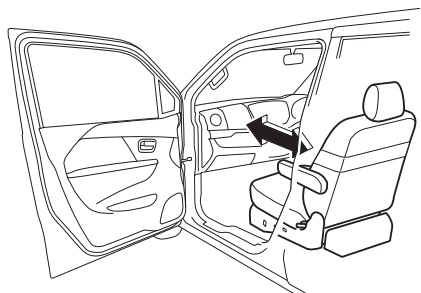
昇降シートに乗員がすわっていないときは、胸部固定用ベルトが垂れさがないようにマジックテープを固定します。

## 昇降シートの動き

### 下降時の動き

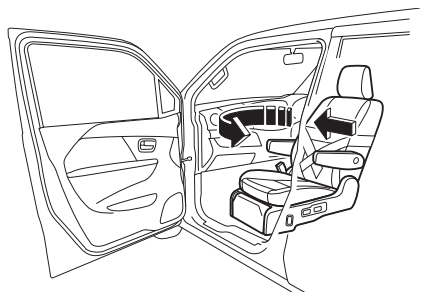
昇降シートは、次のように作動します。

- 1 “ピー” と作動開始ブザーが鳴り、回転開始位置まで自動的にシートが移動して背もたれが動きます。



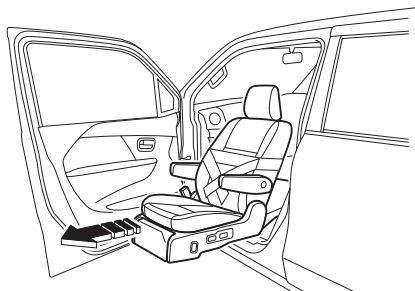
72MA0080

- 2 シートが前方向に移動しながら反時計方向に約90° 回転します。



72MA0090

- 3 シートが車外へスライドします。



72MA0100

- 4 いっぱいまでスライドすると、シートが下降します。いっぱいまで下降すると、シートは自動的に止まります。

### ▲ 注意

昇降シートがドア開口部を通過するとき、乗員の頭が開口上部に当たらないように背もたれが自動で後方に倒れます。そのとき、乗員の頭がヘッドレストに添うよう介助してください。頭をドア開口部にぶつけて、けがのおそれがあります。

### 注 記

シートを車外に出したまま放置しないでください。とくに炎天下、雨天、寒冷時などでは、カバー類の変形、モーター、ボールネジの錆付き、凍結などの原因となります。

# 1. 装置の取扱い

## 上昇時の動き

昇降シートは、次のように作動します。

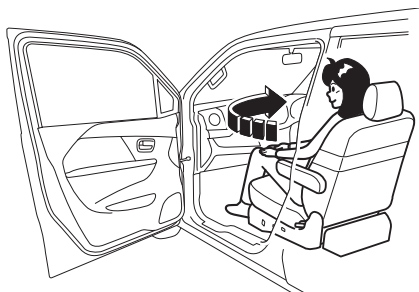
- 1 “ピー”と作動開始ブザーが鳴り、シートが上昇します。



72MA0140

- 2 いっぱいまで上昇すると、シートが車内へスライドします。

- 3 いっぱいまでスライドすると、シートが後ろ方向に移動しながら時計方向に約90°回転します。



72MA0150

- 4 いっぱいまで回転すると、“ピピッ”と完了ブザーが鳴って自動的に止まります。

- シートが固定されていない状態で助手席ドアを閉めると、“ピーッ、ピーッ”と警告ブザーが鳴ります。ブザーが鳴ったときは、助手席ドアを開けて再度スイッチを押し、“ピピッ”と完了ブザーが鳴ってシートが自動的に止まったことを確認してから、再度助手席ドアを閉めてください。

### ⚠ 警告

昇降シートを格納したときに、“ピピッ”と完了ブザーが鳴ったことを確認してください。さらにシートをゆすって、確実に固定されているか確認してください。固定が不確実な場合、ブレーキや加速、衝突のときなどにシートのロックが外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。



72MA0160

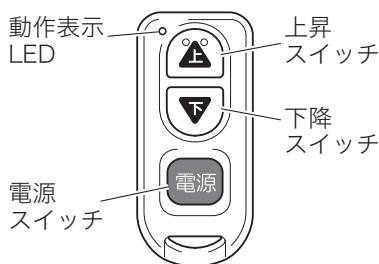
### ⚠ 注意

昇降シートがドア開口部を通過するとき、乗員の頭が開口上部に当たらないように背もたれが自動で後方に倒れます。そのとき、乗員の頭がヘッドレストに添うよう介助してください。頭をドア開口部にぶつけて、けがのおそれがあります。

## ワイヤレスリモコン

- 1-10ページ  
(助手席昇降シートの昇降操作)
- 1-9 ページ (長期間使用しないときは、ワイヤレス受信器スイッチを OFFにする)
- 2-1ページ  
(ワイヤレスリモコンの電池交換)

### 各部の名称



72MA0040

### 警告

リモコンを航空機内へ持ち込む場合は、機内でスイッチを押さないでください。また、バッグなどに入れるときは、簡単にスイッチが押されないように収納してください。スイッチが押されると、電波が発信され、航空機の運航に支障をきたすおそれがあります。  
※リモコンは、航空機内での使用が制限される電子機器に該当します。

### 注意

リモコンの作動可能範囲は約1 m以内ですが、安全に使用していただくため、次のことを必ずお守りください。

- 昇降シートにすわっている乗員の体が見える位置で、頭・腕・足先などが車体との間にはさまれたりぶついたりしないように介助できる距離で操作してください。

### 注記

リモコンには、精密な電子部品が組み込まれています。電子部品の故障を防ぐため、次のことをお守りください。

- インパネの上などの高温になるような場所に置かない
- 落下させるなどして、強い衝撃をあてない
- 水洗いをしたり、水中に入れたりしない
- 磁気を帯びたキーホルダーなどをつけない
- テレビやオーディオなど磁気を帯びた機器の近くに置かない
- 電気医療機器（マイクロ波治療器や低周波治療器など）の近くに置いたり、身につけたまま治療を受けたりしない

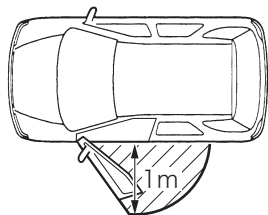
### アドバイス

リモコンもしくは受信器を交換したときは、受信器の暗証コードを再登録する必要があります。詳しくは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

# 1. 装置の取扱い

## 作動可能範囲

助手席ドアを開けた状態で、約 1 m 以内の範囲で昇降シートの昇降操作ができます。



70K4119

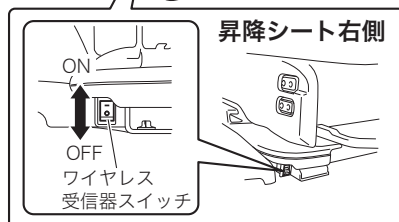
### ⚠️ アドバイス

周囲の状況により、リモコンの作動可能距離が変わることがあります。

## 長期間使用しないときは、ワイヤレス受信器スイッチを OFF にする

ワイヤレスリモコンを使用しない場合は、ワイヤレス受信器スイッチを OFF にしてください。

ワイヤレス受信器スイッチを再び ON に切り替えると、切替え後数十秒でリモコンが使えるようになります。



70K5107

### 注 記

長期間車に乗らないときは、ワイヤレス受信器スイッチを OFF にしてください。バッテリーあがりの原因となります。

## 助手席昇降シートの昇降操作

ワイヤレスリモコンまたはシート昇降スイッチの操作により、助手席シートを昇降させることができます。

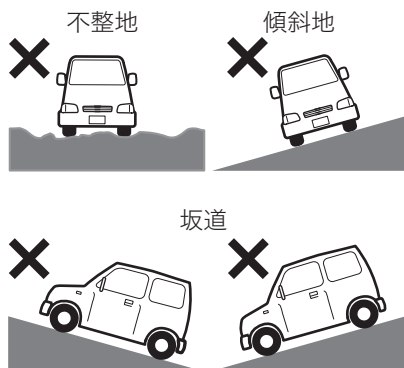
### 安全な場所に停車して使用する

昇降させるときは、助手席ドアやバックドアを全開にしても交通のじゃまにならない平らな場所に停車してください。安全のため、パーキングブレーキをしっかりとかけ、セレクトレバーを **P** に入れてください。

|          |        |
|----------|--------|
| 最大昇降許容重量 | 100 kg |
|----------|--------|

## 警告

不整地や傾斜地、坂道では、乗り降りの際に車いすや昇降シートから転落するなど思わぬ事故につながるおそれがあります。また、車いす収納時に車いすが不安定となって身体や車体に当たり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



70K4016

## 注意

昇降シートを動かす前に、後席シート同乗者の安全を確認してください。シートと車体の間に足をはさんだりして、けがのおそれがあります。

## 注記

- 昇降シートの最大昇降許容重量を超えると、昇降シートや昇降装置が損傷するおそれがあります。
- 連続して何回も昇降シートを操作する場合は、バッテリーあがりを防ぐためにエンジンをかけた状態でないです。

## アドバイス

- 昇降シートは、シート左側面にあるシート昇降スイッチでも操作することができます。  
→ 1-15 ページ (シート昇降スイッチによる昇降シートの昇降操作)
- 周囲の電波状態により、リモコンのスイッチを押してもシートが作動しないことがあります。そのときは、次のようにしてください。
  - ・リモコンを操作する位置を変える
  - ・シート側のシート昇降スイッチで操作する。
- シート作動中、シートに抵抗が加わり作動がさまたげられると、“ピー”と警告ブザーが鳴り、シートが少し反転して停止します。

## 1. 装置の取扱い

### ワイヤレスリモコンを使用して昇降シートを車外に出すときは

昇降シートの操作は、介助者が乗員の安全を確かめながら、介助できる距離で行なってください。

#### ⚠ 注意

- 乗員には昇降シートの操作をさせないでください。自身の安全が確認できず、ドア開口部やドアなどに頭や足をぶついたり、シートと車体の間に手足をはさんだりして、けがのおそれがあります。
- とくにご自身でシートに深く着座できない方、ひざや首を曲げられない方の場合、介助者の十分な補助が必要です。

- 1 車を安全な場所に停車させて、助手席ドアを全開にします。

→ 1-10 ページ（安全な場所に停車して使用する）

#### ⚠ 警告

助手席ドアを開け、昇降シートを車外に出しているときは、車を移動させないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

#### ⚠ 注意

- 助手席ドアを全開にしないと、乗員の足などがドアにぶつかってけがのおそれがあります。また、シートとドアが当たって損傷の原因となります。



72MA0050

- 強風時は、介助者が助手席ドアを全開にして保持してください。風で助手席ドアがあおられて急に開いたり閉まったりして、体に当たりけがのおそれがあります。

#### 🔊 アドバイス

- この車は、標準車に比べて助手席ドアの開口角度が大きくなっています。
- 助手席ドアが閉まっていると、ワイヤレスリモコンを操作しても昇降シートは作動しません。

- 2 乗員がすわっているときは、シートベルトを外します。

#### ⚠ 注意

シートベルトを着用したまま、シートを昇降させないでください。また、外したシートベルトがアームレストに引っかかっていないことを確認してください。シートベルトにより、けがのおそれがあります。

## 1. 装置の取扱い

### 注 記

シートベルトがアームレストに引っかった状態で昇降シートを操作すると、シートベルトやアームレストが破損したり、昇降シートが故障する原因となります。

### 3 乗員を正しい着座姿勢にします。

- シートに深く着座します
  - アームレストを下げ、乗員の両腕の位置を内側にします
  - フットレストを下げ、乗員の両足を乗せ両ひざをそろえます
  - 胸部固定用ベルトを着用します
- 1-2ページ（正しい着座姿勢）

### 4 シートの昇降作動のじゃまになるようなものがあれば取り除きます。また、次のことを確認してください。

- グローブボックスが閉まっている
- 助手席側のサンバイザーとドリンクホルダーが格納されている

### 5 ワイヤレスリモコンの電源スイッチを押し、動作表示LEDが赤色に点灯中（6秒以内）に下降スイッチを押します。

- 下降スイッチを押すとシートが作動し、動作表示 LED が緑色に点滅します。
- スイッチから指を離すと、シートはその位置で止まります。
- 再びシートを動かすときは、前の操作から6秒以内であれば、下降スイッチを押すだけでシートが作動します。前の操作から6秒以上経過した場合は、再度電源スイッチを押してから、下降スイッチを押す必要があります。



72MA0070

### ⚠ 注意

ドア開口部やドアなどに頭や足をぶつけたり、シートと車体の間に手足をはさんだりしないよう気をつけてください。また、乗員だけでなく、介助者もご注意ください。



72MA0060

### 注 記

断続的にスイッチを押さないでください。故障の原因となります。

## 1. 装置の取扱い

- 6 シートの下降が自動的に止まったら、スイッチから指をはなしてください。

### アドバイス

背の高い方などは、シートをいっぱいまで下降させると、シートが低すぎて乗り降りしにくい場合があります。その場合は、上昇スイッチを操作して、適切な高さまでシートを上昇させます。

### ワイヤレスリモコンを使用して昇降シートを車内にもどすときは

- 1 次の手順で乗員を昇降シートに乗せます。

- ①アームレストを次の図のようにします。
- ②胸部固定用ベルトを開いておきます。



72MA0110

- ③乗員を昇降シートに深く着座させ、左側アームレストを下げて乗員の両腕を内側にします。

- ④胸部固定用ベルトを乗員に着用させます。

- ⑤フットレストを下げ、乗員の両足を乗せ両ひざをそろえます。

- ⑥乗員が正しい着座姿勢になっているか確認します。

→ 1-2ページ (正しい着座姿勢)

### 注意

フットレストの上で立ち上がらないでください。足を踏み外したりして、けがのおそれがあります。



72MA0030

- 2 ワイヤレスリモコンの電源スイッチを押し、動作表示LEDが赤色に点灯中（6秒以内）に上昇スイッチを押します。

- 上昇スイッチを押すとシートが作動し、動作表示LEDが緑色に点滅します。
- スイッチから指を離すと、シートはその位置で止まります。
- 再びシートを動かすときは、前の操作から6秒以内であれば、上昇スイッチを押すだけでシートが作動します。前の操作から6秒以上経過した場合は、再度電源スイッチを押してから、上昇スイッチを押す必要があります。

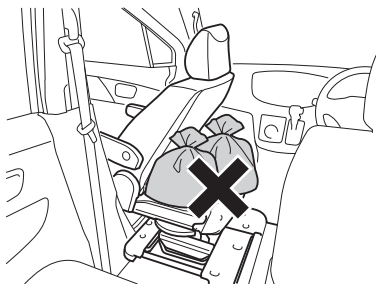
## 1. 装置の取扱い



72MA0120

### ▲ 注意

シートを車外に出しているときは、シート格納スペースに手足を入れたり、荷物などを置いたりしないでください。シートを車内にもどすときに手足をはさんだり、シートが確実に格納されなかったりして思わぬ事故につながるおそれがあります。また、荷物などがかみ込んでシートが動かなくなったり、荷物などが損傷したりする原因となります。



72MA0130

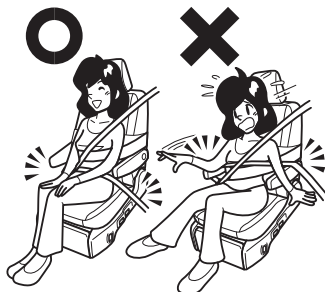
### 注 記

断続的にスイッチを押さないでください。故障の原因となります。

- 3 シートが自動的に止まったら、スイッチから指をはなしてください。
- 4 昇降シートのヘッドレストの高さ、前後位置および背もたれの角度を調節し、確実に固定されているか確認します。  
→ 1-3 ページ (助手席昇降シートの調節のしかた)
- 5 足をフットレストから下ろし、フットレストを上げて格納します。  
→ 1-4 ページ (フットレスト)
- 6 乗員にシートベルトを着用させます。

### ▲ 警告

- 胸部固定用ベルトはシートベルトではありません。胸部固定用ベルトを着用した場合であっても、走行前にその上から必ずシートベルトを着用してください。シートベルトを着用しないと、急ブレーキや衝突のときなどに、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- アームレストにベルトがかかっていると、シートベルトが本来の効果を発揮できません。ベルトは、アームレストの下を通してください。



72MA0450

## 1. 装置の取扱い

### ⚠️ アドバイス

胸部固定用ベルトが不要な場合（乗車中、着座姿勢を保てる方）は、シートベルトを着用する前に胸部固定用ベルトを外します。

- 7 乗員に気をつけて、ゆっくりと助手席ドアを閉めます。

### ⚠️ 警告

走行前にメーター内の半ドア警告灯  が消灯し、すべてのドアが確実に閉まっていることを確認してください。助手席ドアが閉まっても半ドア状態の場合、昇降シートは作動可能です。誤ってワイヤレスリモコンやシート昇降スイッチを操作した場合、シートが動いて重大な傷害を受けるおそれがあります。



72MA0170

## シート昇降スイッチによる昇降シートの昇降操作

### ⚠️ 警告

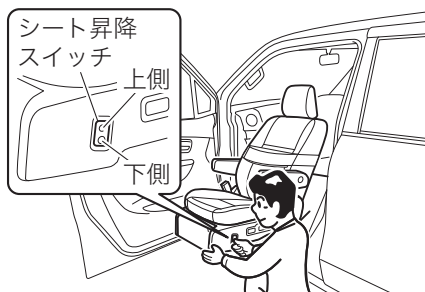
シート昇降スイッチを使用して操作する場合も、1-10～1-15 ページの事項を必ず守ってください。守らないと思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 1 助手席ドアを全開にします。

### ⚠️ アドバイス

助手席ドアが閉まっていると、シート昇降スイッチを操作しても昇降シートは作動しません。

- 2 シートを車外に出すときは、シート昇降スイッチの下側を押します。シートを車内にもどすときは、シート昇降スイッチの上側を押します。
- スwitchを押すと、シートが作動します。
  - スwitchから手を離すと、シートはその位置で止まります。



72MA0180

### 注 記

断続的にスイッチを押さないでください。故障の原因となります。

## 1. 装置の取扱い

- 3 シートが自動的に止まったら、シート昇降スイッチから指を離してください。

### ⚠️アドバイス

背の高い方などは、シートをいっぱいまで下降させると、シートが低すぎて乗り降りしにくい場合があります。その場合は、上昇スイッチを操作して、適切な高さまでシートを上昇させます。

### 車いす固定装置

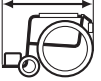
→ 1-1ページ（車いす固定装置）

### 車いすを収納する前に

#### ■ 収納可能な車いす

折りたたんだときに、次の表の車いすが荷室に収納可能です。ご使用の車いすを確認してください。

- 折りたたんだときの車いすの状態によっては、荷室に完全に収まらない場合があります。このような場合は収納できません。

|        |                                                                                     |                        |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|
| 全高     |  | 650 mm以下<br>(アームレスト高さ) |
| 全長     |  | 1050 mm以下              |
| 折りたたみ幅 |  | 350 mm以下               |
| 重量     |                                                                                     | 30 kg以下                |

#### ■ 収納するにあたって

ラッシングベルトに傷やほつれがないか点検してください。

→ 1-19ページ（日常点検）

### 車いすの収納・固定

安全な場所に停車してください。

→ 1-10ページ

（安全な場所に停車して使用する）

### ⚠️ 警告

エンジンをかけた状態で、バックドアを開けたままにしないでください。排気ガスが車内に侵入して、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。また、排気ガスでやけどのおそれがあります。

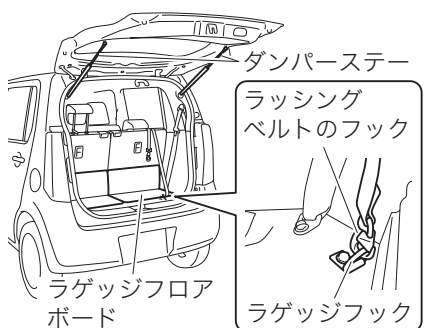


80J10070

## 1. 装置の取扱い

### ■ 車いすを収納・固定するときは

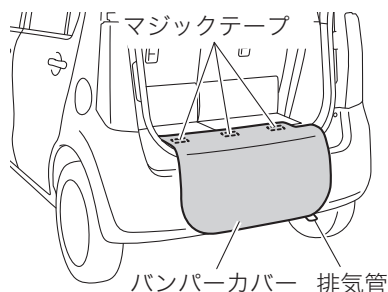
- 1 エンジン进行止め、バックドアを全開にします。
- 2 車いす収納スペース確保のため、後席のスライドレバーやリクライニングレバーを操作して、後席シートを一番前に動かします。
- 3 左側後席のヘッドレストを固定できる一番高い位置まで持ち上げます。ヘッドレストステーの左側にストラップが装着されていることを確認します。
- 4 ラゲッジフロアボードをめくったところにあるラゲッジフックに、ラッシングベルトのフックを取り付けます。
  - ラッシングベルトは、右後席シートの背もたれにかけておきます。



### 注 記

- バックドアをささえているダンパーステーに、ラッシングベルトをかけないでください。ステーが損傷したり、ロッド部（ドア開閉時に摺動する棒部分）に傷がついたりすると、ステーが円滑に動かなくなったり、バックドアを開けたときに保持できなくなったりするおそれがあります。
- ラゲッジフックはラッシングベルト固定専用です。そのほかの目的で使わないでください。ラゲッジフックを損傷するおそれがあります。

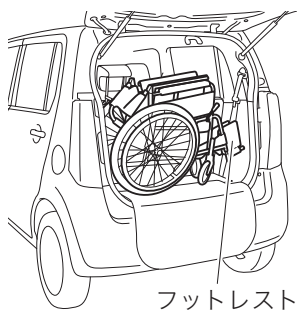
- 5 バンパーカバーのマジックテープ3か所を荷室床に貼り付け、カバーをバンパーにかけます。



### 注 記

バンパーカバーをバンパーにかけるときは、カバー下部が排気管に近付けないようにしてください。排気管は高温になるため、カバーが損傷するおそれがあります。

- 6 車いすを折りたたみ、車体に当てないよう注意しながら荷室へ収納します。



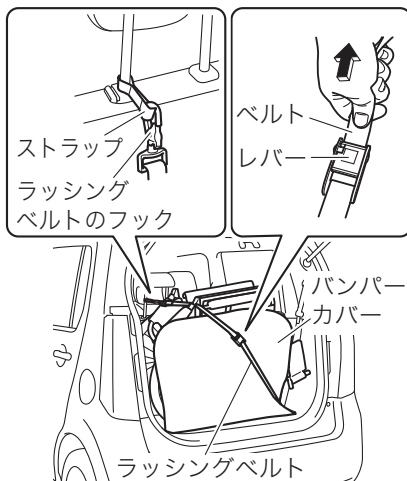
72MA0210

## ⚠️ アドバイス

車いすのフットレストを図のように右側にすると、荷室右側面の凹みが利用でき、収納しやすくなります。

- 7 バンパーカバーを外さずに上にめくり、車いすを包み込むようにラッシングベルトでおさえます。

- ラッシングベルトのフックをストラップにかけます。ベルトを引っ張り、車いすをしっかりと固定します。（ゆるめるときは、ベルトのレバーを押します）
- 車いすをゆるめるなどして、しっかりと固定されているか確認します。



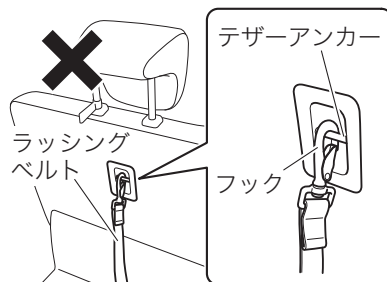
72MA0230

## ⚠️ 警告

車いすをしっかりと固定してください。しっかりと固定しないと、急ブレーキで車いすが飛び出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 注 記

テザーアンカーにラッシングベルトのフックをかけないでください。テザーアンカーを損傷するおそれがあります。



72MA0220

## 1. 装置の取扱い

- 8 バックドアを軽く閉め、車いすとバックドアが当たっていないことを確認します。

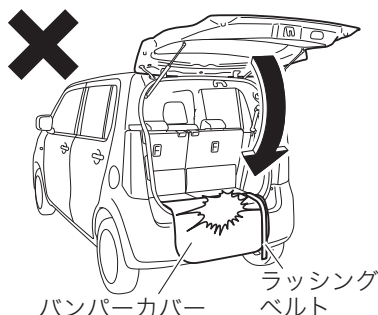
### 注 記

車いすとバックドアが当たっていないことを確認してください。確認しないでバックドアを閉めると、車いすやバックドアを損傷するおそれがあります。

- 9 バックドアを閉めます。バックドアが確実に閉まっているか確認します。

### ▲ 注意

ラッシングベルトやバンパーカバーを出したまま、バックドアを閉めないでください。バックドアが確実に閉まらずに不意に開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、ベルトやカバーがかみ込んで傷がついたり、バックドアが開かなくなったりするおそれがあります。



72MA0240

### ■ 車いすを取り出すときは

1-17 ページの「車いすを収納・固定するとき」の逆の手順で行ないます。

### お手入れ

#### ■ お手入れ

ラッシングベルトやバンパーカバーの清掃は、中性洗剤かぬるま湯で行ないます。直射日光を避けて乾燥させてから使用してください。

### 注 記

漂白剤、溶剤、染料を使用しないでください。しみ、変色、強度低下などの原因となります。

### ■ 日常点検

ラッシングベルトに傷やほつれがないか点検してください。ベルトに傷やほつれがあるときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

### ▲ 警告

ラッシングベルトに傷やほつれがあると、急ブレーキでベルトが切れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## ワイヤレスリモコンの電池交換

次のようなときは、リモコンの電池消耗が考えられます。電池を交換してください。

- リモコンを操作しても、シートが作動しなくなったり、作動可能距離が著しく短くなったりしたとき  
→ 1-9ページ（作動可能範囲）
- リモコンの動作表示 LEDが暗くなったり、点滅なくなったりしたとき

### 電池交換のしかた

電池交換のために、次のものを用意します。

- コイン …………… 1枚
- 新品の電池 ……… 1個

|      |              |
|------|--------------|
| 使用電池 | リチウム電池CR2032 |
|------|--------------|

### 警告

電池および取り外した部品は、お子さまが誤って飲み込まないように注意してください。

### 注 記

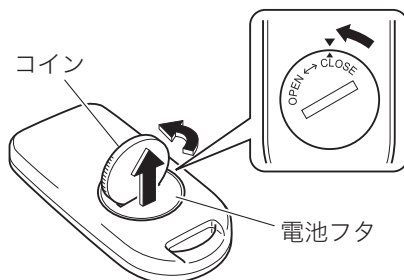
故障を防ぐため、次のことをお守りください。

- 濡れた手で電池交換をしない
- 電池以外の端子や電子部品に触れない
- 端子を曲げない
- 油や異物を付着させない

### アドバイス

- 電池交換をするときは、部品を紛失しないよう注意します。
- 電池はスズキ販売店や家電量販店・ホームセンターなどでご購入ください。

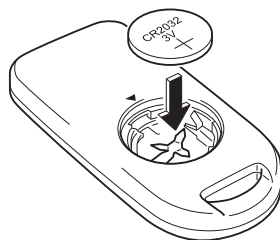
- 1 リモコンの電池フタは、コインを使って反時計方向にまわしてゆるめて外します。



72MA0250

- 2 電池を交換します。

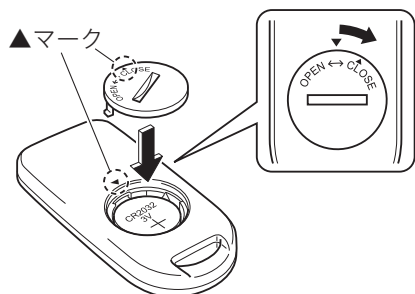
- 古い電池を取り出します。
- 電池は+極を上にして取り付けます。



72MA0260

## 2. 万のとき

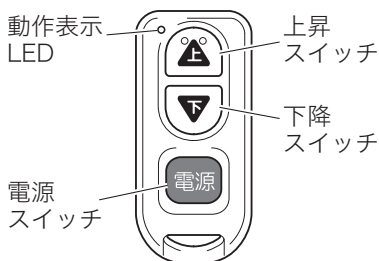
- 3 電池フタと本体の▲マークをあわせてはめ込みます。



72MA0270

- 4 電池フタは、コインを使って時計方向にまわしてしっかりと締め付けます。

- 5 リモコンの電源スイッチを押し、動作表示LEDが赤色に点灯中（6秒以内）に下降スイッチまたは上昇スイッチを押して動作表示LEDが緑色に点滅することを確認します。  
このとき、助手席ドアが閉まっていれば、リモコンの動作表示LEDは点滅しますが、昇降シートは作動しません。



72MA0040

### ⚠ 注意

スイッチを操作する前に、昇降シートに乗員がいないこと、または助手席ドアが確実に閉まっていることを確認してください。不意に昇降シートが動き出すおそれがあります。

### ヒューズの点検・交換

ワイヤレスリモコンおよび昇降シートの側面にある各スイッチを押してもシートが動かないときは、ヒューズ切れが考えられます。ヒューズ交換の際は、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

- ヒューズを交換したときは、昇降シートのリセット操作を行なってください。

→ 2-3ページ

(バッテリーを交換したときは)

### ⚠ 警告

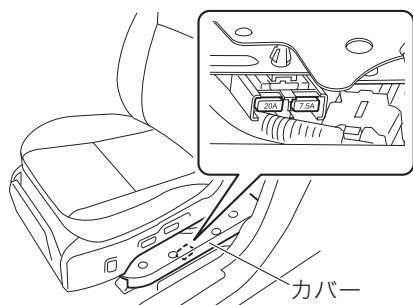
ヒューズは、同じサイズで同じ容量のものと交換してください。サイズの違うヒューズ、容量の大きいヒューズ、針金、銀紙などを使用すると、配線が焼損したり火災が発生したりする原因となります。

### ヒューズ位置

昇降シート左側面のカバー内とダッシュサイドトリム内にあります。

#### ■ 昇降シート左側面のカバー内

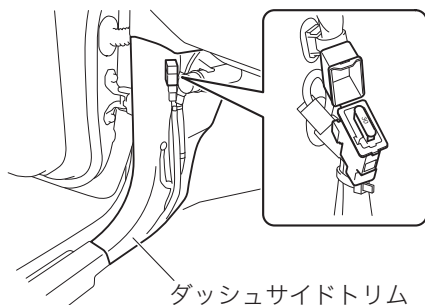
- ヒューズタイプ … ミニブレード
- 容量 …………… 7.5A、20A



70K4137

#### ■ ダッシュサイドトリム内

- ヒューズタイプ … ミニブレード
- 容量 …………… 30A



72MA0280

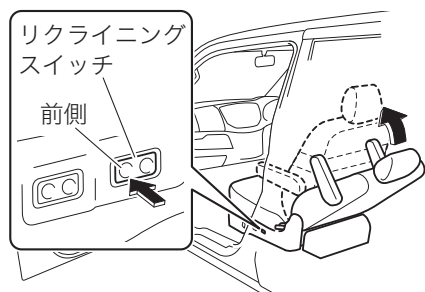
### バッテリーを交換したときは

バッテリーを交換したり、ヒューズを交換したりして、昇降シートへの電源供給を一度絶って再接続すると、“ピーッ、ピーッ”と警告ブザーが断続的に鳴るようになります。そのときは、昇降シートのリセット操作を行ってください。

※前記のほか、バッテリーを交換したときは、初期設定が必要な機能があります。別冊の「**WAGON R 取扱説明書**」をお読みください。

### 昇降シートのリセット操作のしかた

- 1 背もたれを起こします。
  - 背もたれが自動的に止まるまで、リクライニングスイッチの前側を押し続けます。



72MA0290

## 2. 万ーのとき

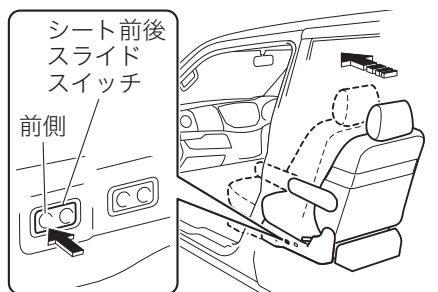
### 2 シートを後方へスライドさせます。

- シートが自動的に止まるまで、シート前後スライドスイッチの後ろ側を押し続けます。



### 3 シートを前方へスライドさせます。

- シートが自動的に止まるまでシート前後スライドスイッチの前側を押し続けます。リセット操作が完了すると、“ピッピッ”と完了ブザーが鳴ります。



前記手順は代表例です。これ以外の手順でも“ピッピッ”と完了ブザーが鳴って、そのあと“ピーツ、ピーツ”と警告ブザーが鳴らなければ、リセット操作は完了です。

## 正常に動かなくなったときは

- シート昇降スイッチを押しても次のようなときは、スズキサービス工場で点検を受けてください。
  - 昇降シートが通常の作動とは異なる動きをしたとき
  - 昇降シートが動かないとき→ **2-2ページ**  
(ヒューズの点検・交換)

- 万一、シートが車外に出ている状態で正常に動かなくなってしまったときは、助手席ドアを閉めることができません。次の手順で、シートを車内にもどしてください。

## ▲ 注意

乗員を昇降シートに乗せたまま作業を行わないでください。

## スイッチを押すと昇降シートが動くとき

次の手順でシートを動かし、車内にもどしてください。（通常のスイッチ操作とは異なります）

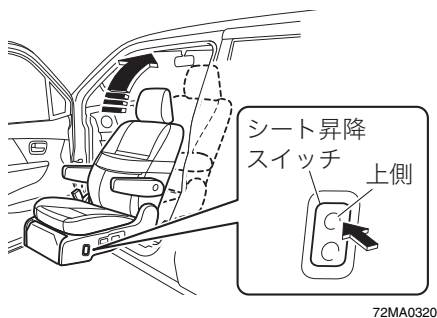
- ### 1
- フットレストを持ち上げ格納します。

→ **1-4ページ（フットレスト）**

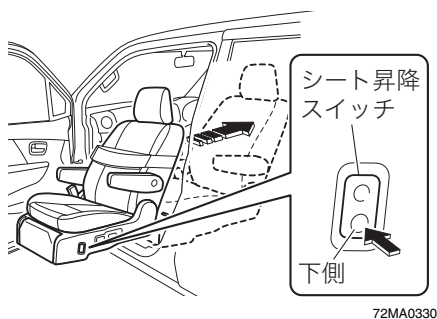
- ### 2
- シートを上昇させます。

- シートが自動的に止まるまで、シート昇降スイッチの上側を押し続けます。

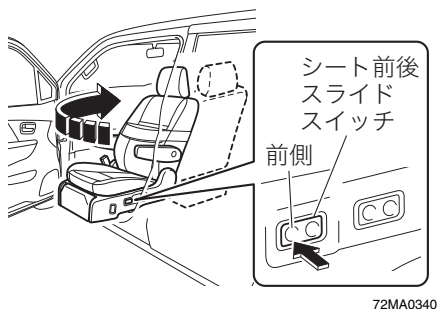
## 2. 万ーのとき



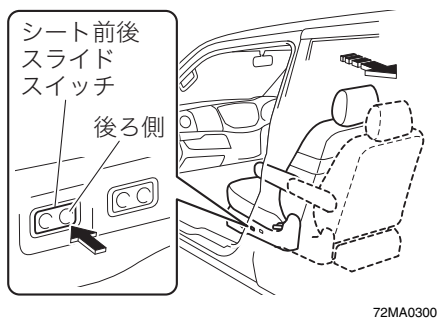
- 3 シートを車内へスライドさせます。
- シートが自動的に止まるまで、シート昇降スイッチの下側を押し続けます。



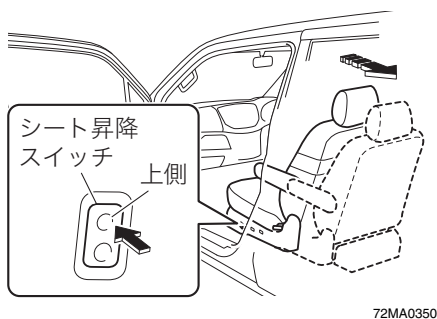
- 4 シートを車内に回転させます。
- シートが自動的に止まるまで、シート前後スライドスイッチの前側を押し続けます。



- 5 シートを後方へスライドさせます。
- シートが自動的に止まるまで、シート前後スライドスイッチの後側を押し続けます。



- 6 シートをさらに後方へスライドさせます。
- “ピッピッ”と完了ブザーが鳴って、シートが自動的に止まるまでシート昇降スイッチの上側を押し続けます。



## 2. 万一のとき

### スイッチを押しても昇降シートが動かないとき

次の操作を行っても、シートが車内に格納できないときは、次の手順でシートを車内に手動格納してください。

- バッテリーのマイナス端子の脱着（システムが初期化され、作動するようになる場合があります）
- 2-3 ページの「昇降シートのリセット操作のしかた」
- 2-4 ページの「スイッチを押すと昇降シートが動くとき」

#### 注 記

昇降シートを無理に手動格納しようとすると、破損するおそれがあります。ご自身で手動格納ができない場合は、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。

#### ■ 使用工具について

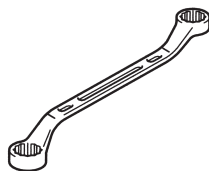
手動格納するときは、ラゲッジアンダーボックスに入っている工具を使用します。次の工具が入っているか確認してください。

- 12 - 14mm スパナ



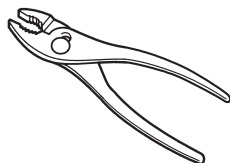
70K4143

- 10 - 12mm メガネレンチ



70K4144

- プライヤー



70K4145

#### ■ 手動での格納のしかた

##### ⚠ 警告

使用した工具は工具袋に入れ、ラゲッジアンダーボックスに収納してください。工具を車内に放置すると、急ブレーキをかけたときなどに乗員に当たったり、運転のさまたげになったりして思わぬ事故につながるおそれがあります。

##### ⚠ 注意

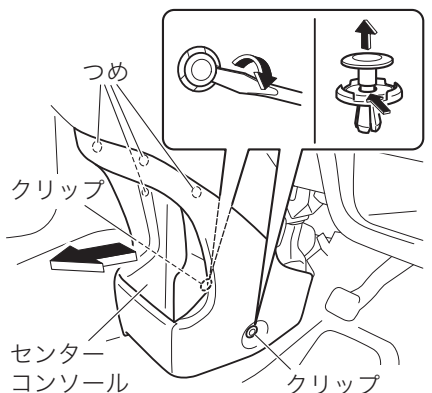
昇降シートを手動格納するとき、次のことに注意してください。

- ユニットの部品にはとがった部分があり、けがをするおそれがあります。
- 可動部などに不用意に手足をかけないでください。急に動き出しけがをするおそれがあります。

## 2. 万一のとき

- 1 クリップ2本を外し、手前にひいてセンターコンソールを外します。

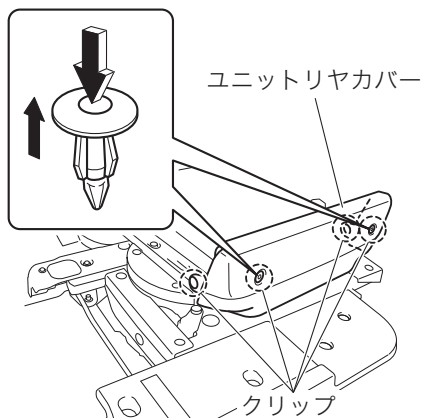
- クリップは、マイナスドライバー（市販品）でこじって外します。



72MA0360

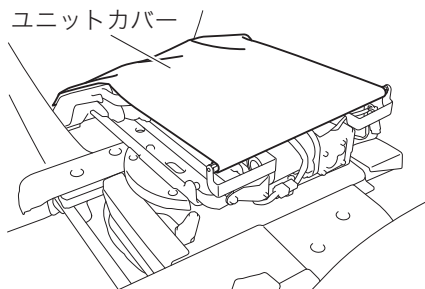
- 2 クリップ4本を外し、ユニットリヤカバーを外します。

- カバー内側のクリップ2個は、中央部を先のとがったもので“カチッ”と音がするまで押し込んでから外します。
- カバー外側のクリップ2個は、カバーとユニット本体との間に指を入れて引き外します。



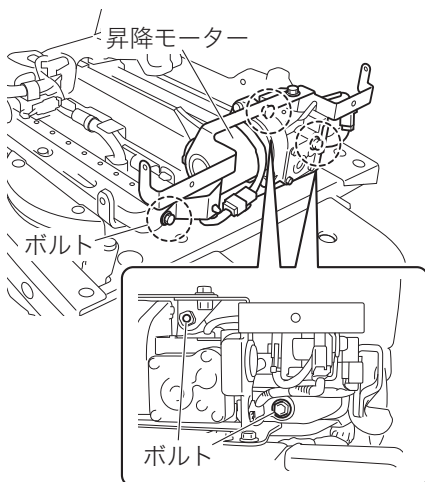
72MA0460

- 3 ユニットカバーを外します。



72MA0400

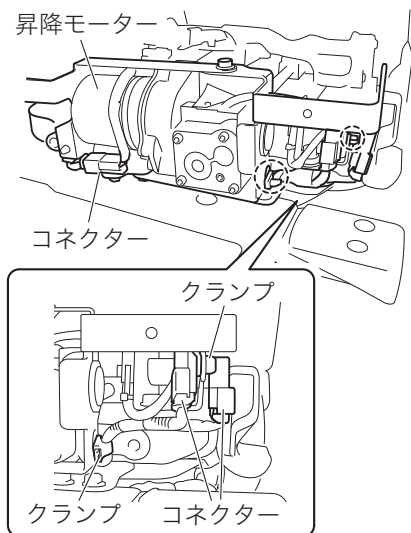
- 4 昇降モーターのボルト3本を外します。



72MA0410

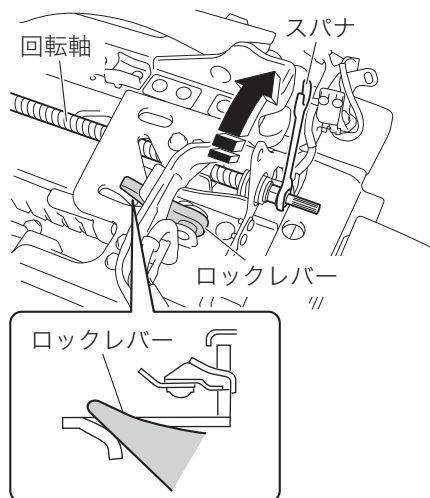
## 2. 万一のとき

- 5** コネクター3 か所およびクランプを2 か所外し、昇降モーターを外します。



72MA0390

- 6** シートを途中まで上昇させます。
- スパナを使用して、ロックレバーの上がらない図の位置まで時計方向にゆっくりとまわします。

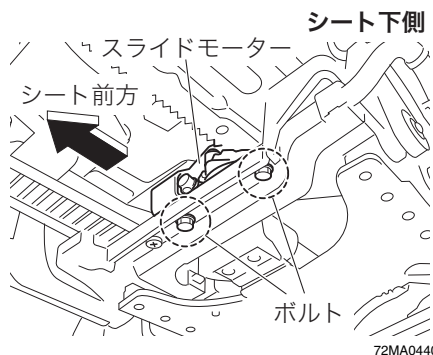


72MA0370

### アドバイス

- スパナで回転軸をすばやくまわすと、回転軸が滑りシートがもどることがあります。
- 回転軸を反時計方向にまわすと、シートが下降します。

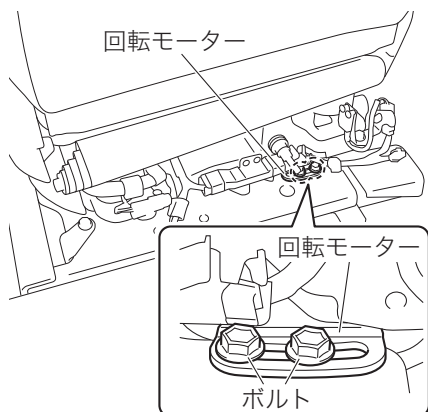
- 7** シートの下側より、メガネレンチを使用して、スライドモーターのボルトを2本ゆるめます。
- ゆるめたときに、スライドモーターがずれていることを確認します。ずれていなければ手でスライドモーターをずらしてください。



72MA0440

- 8** シートを車内に押し、止まるまでスライドさせます。
- 9** シートを完全に上昇させます。
- 手順⑥と同じ方法で、スパナを昇降モーターの回転軸がまわらなくなるまで時計方向にまわします。
- 10** メガネレンチを使用して、回転モーターのボルト2本をゆるめます。

- 11 回転モーターをずらし、ギヤのかみ合いを外します。



72MA0380

- 12 シートを車内にいっぱいまで回転させ、固定します。

- シートを車内に格納したら、スズキ販売店またはスズキ代理店で点検を受けてください。

### 警告

昇降シートを手動格納したときは、昇降シートにすわらないでください。固定が不確実なため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 注記

昇降シートの格納状態によっては、助手席ドアを閉めると警告音が鳴る場合がありますが、そのままスズキ販売店またはスズキ代理店にお持ちください。また、すぐに点検を受けれないときは、バッテリーあがりを防ぐためダッシュサイドトリム内にあるヒューズを抜きます。

→ 2-2ページ

(ヒューズの点検・交換)

### 故障したときの連絡先は

スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。スズキ代理店の所在地や電話番号は、別冊の「スズキ4輪車サービスネットワーク」をご覧ください。



### 安全運転5か条

- ① 安全速度を必ず守りましょう。
- ② カーブの手前でスピードを落しましょう。
- ③ 交差点では必ず安全を確かめましょう。
- ④ 一時停止で横断歩行者の安全を守りましょう。
- ⑤ 飲酒運転は絶対しないようにしましょう。



### 愛車の車検・点検は、お買い求めいただいた お店にお出かけください。

法令で定められた点検整備(日常点検・定期点検)および  
スズキが指定している点検整備は必ず行ないましょう。

お問い合わせ、ご相談はお近くのスズキ販売店またはスズキ代理店、  
もしくは下記お客様相談室までお願いいたします。

#### **スズキ株式会社** お客様相談室

フリーダイヤル ☎ **0120-402-253**

受付時間 / 9:00~12:00, 13:00~17:00

※ 弊社お客様相談室におけるお客様の個人情報の取扱いについては、スズキ  
株式会社ホームページにて掲載していますのでご覧ください。  
(<http://www.suzuki.co.jp>)

#### **スズキ株式会社**

〒432-8611 浜松市南区高塚町300  
99014-72M00 印刷 2012年11月 TP32